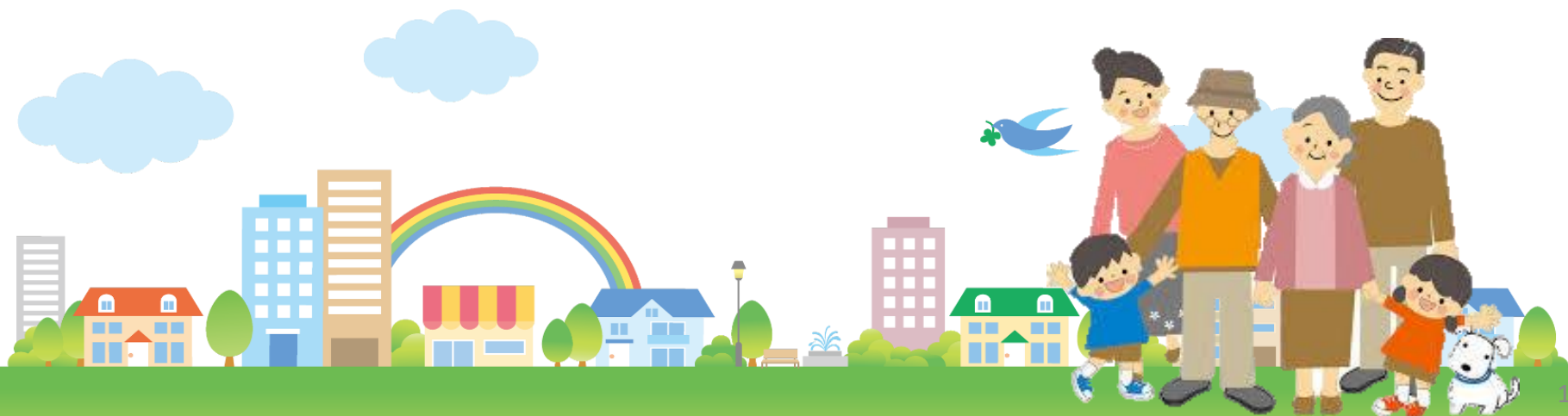


どうする？

どうなる？

長崎市の公共施設

第1回 外海地区の 公共施設のあり方を考える市民対話



本日の流れ

- ・ 開会挨拶
- ・ 職員及びスタッフの紹介(5分)
- ・ 時代の変化に対応できる公共施設の見直し(20分)
- ・ グループ協議(20分)
- ・ 見直し手法と外海地区の施設について(20分)
- ・ グループ協議(30分)
- ・ グループ協議の発表とまとめ(25分)

今回、一緒に考えたいこと

時代の変化に対応できる

公共施設の見直し



ところで、

公共施設

行政サービス

って、どんなもの？

?



長崎市が設置・運営している

公共施設には、

- 学校
- 市営住宅
- ふれあいセンター
- 公民館
- 体育館
- 老人憩の家
- 図書館
- 庁舎
- 消防署

など、いろいろな施設があります。



図書館



学校



消防署

行政サービスとは、
公共施設を使って提供している、
みなさんの暮らしに必要なサービスのことで、

- 戸籍などの手続き
- 年金
- 福祉
- 子育て支援
- ごみ処理
- 消防
- 教育
- 市営住宅やホールなどの管理・運営

などをいいます。



本日のお話

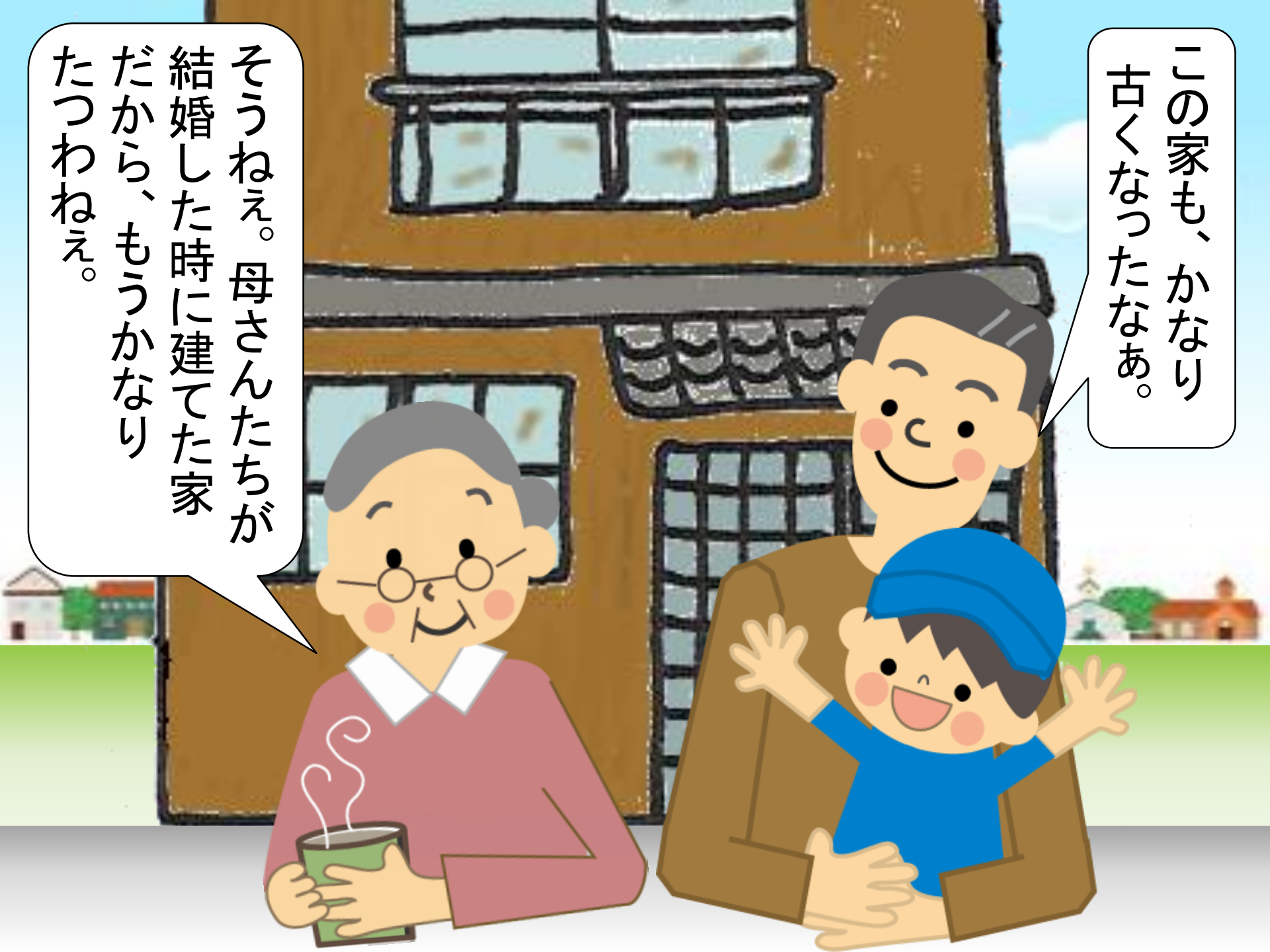
- ①いま起きている“変化”と状況
- ②公共施設のかしこい見直し方



ごきげんよう

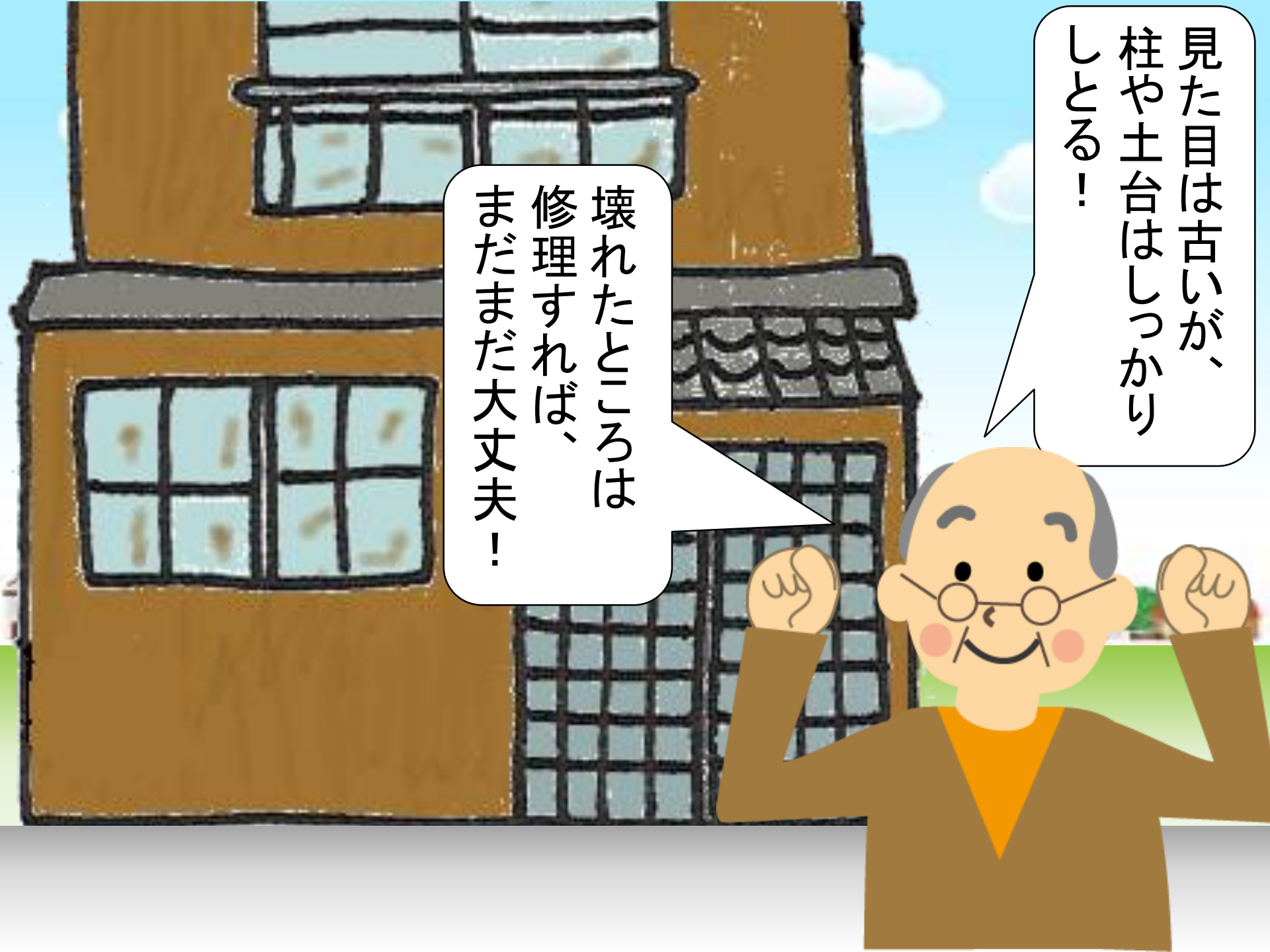
よく来たのぉ！

おじいちゃん！
おばあちゃん！
遊びに来たよ！



この家も、かなり古くなったなあ。

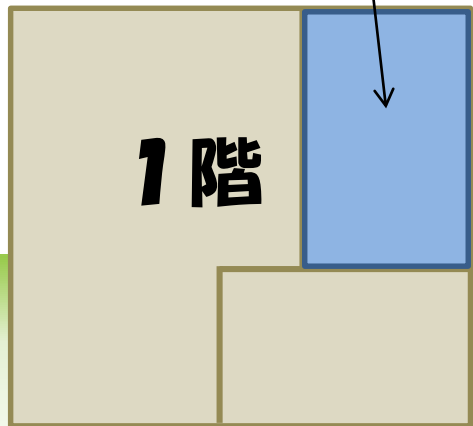
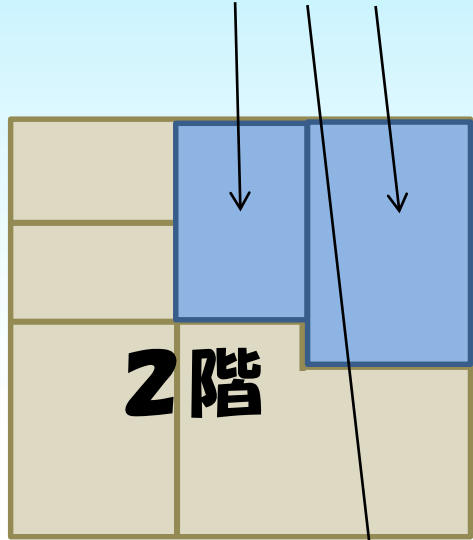
そうねえ。母さんたちが結婚した時に建てた家だから、もうかなりたつわねえ。



見た目は古いが、
柱や土台はしっかり
しとる！

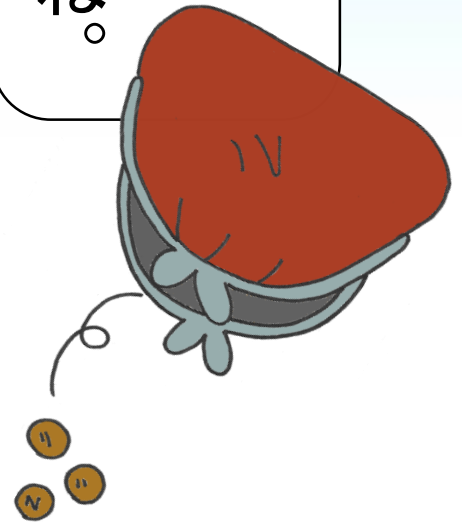
壊れたところは
修理すれば、
まだまだ大丈夫！

使っていない
部屋

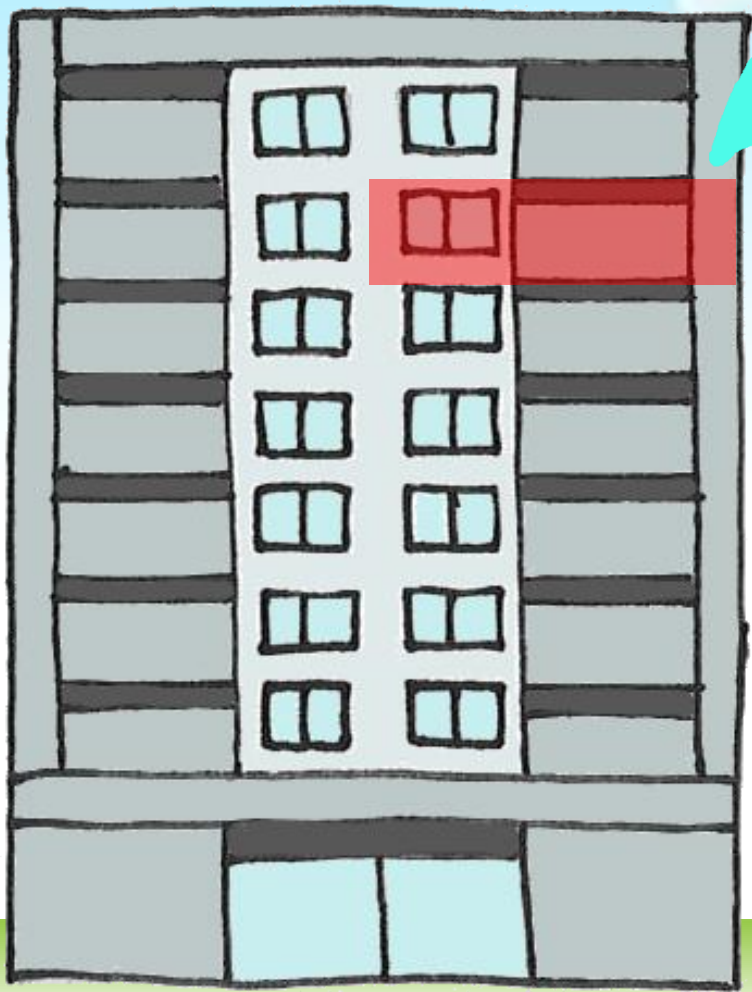


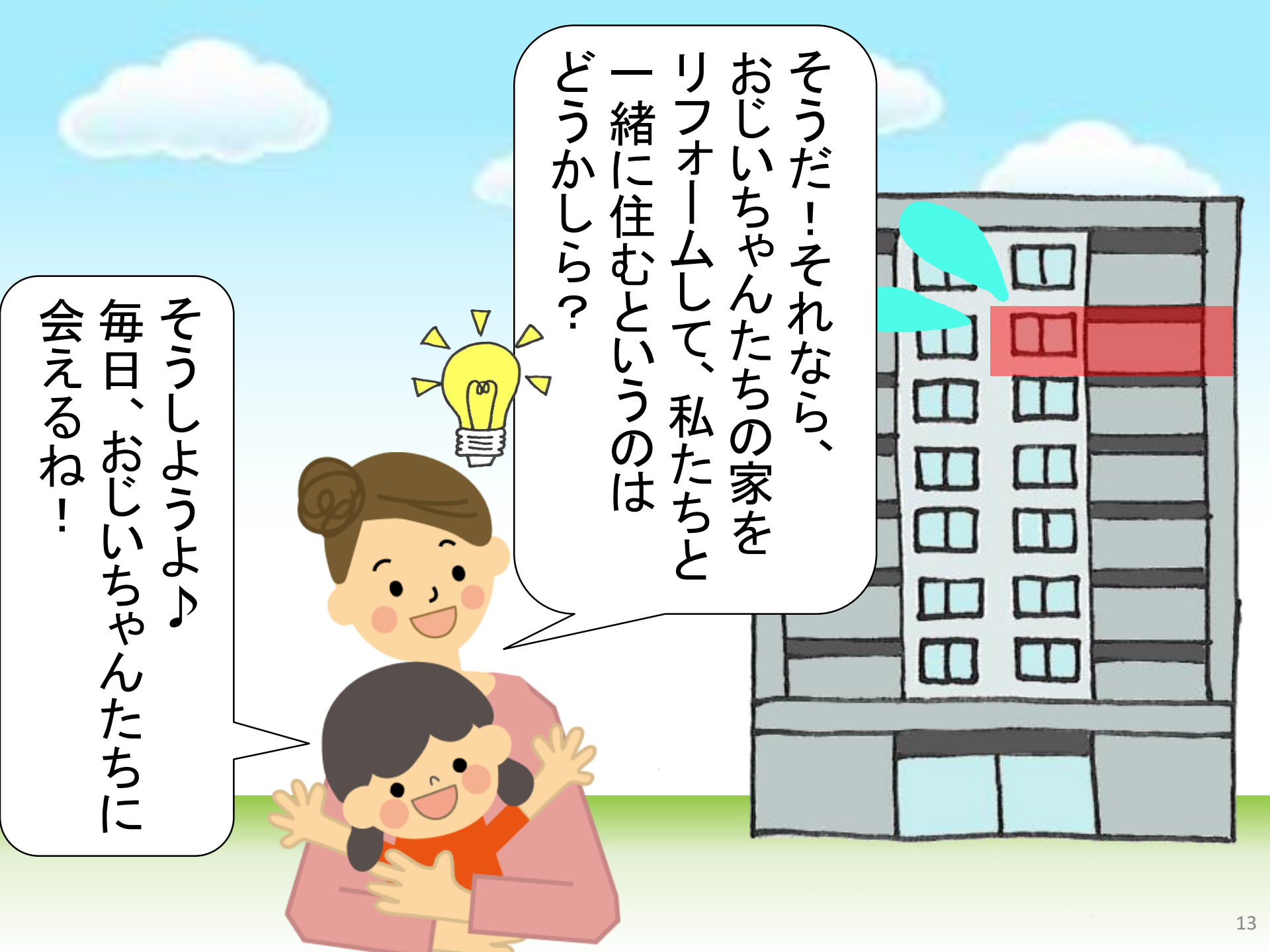
それに、子どもたちも
独立して、今はこんなに
たくさんさんの部屋も
必要ないのよね。

ああ言ってるけど、
修理するにも、
お金がかかるのよね。



実は、僕たちも中古で買った
マンションが、だいぶ傷んできたし、
子どもたちが成長して狭くなっ
てきたから、そろそろ家を建てたい
と考えているんだよ。





そうだ！それなら、
おじいちゃんたちの家を
リフォームして、私たちと
一緒に住むというのは
どうかしら？

そうしてよ！
毎日、おじいちゃんたちに
会えるね！

それはいいアイデア
だね♪
家を新しく
建てるよりお金が
かからないし、
マンションを売った
お金でリフォーム
できるんじゃないか
な？

そうねえ♪
一緒に住めば、
電気代なんかも節約できるわね♪



家族が増えて
明るくなったわ♪

息子たちがいるから
安心だ！

売却

リフォーム



これは、長崎市の**古くなった**施設や
使っていない部屋がある施設などを
どう見直すかを
身近に例えたお話です！



①いま起きている “変化”と状況

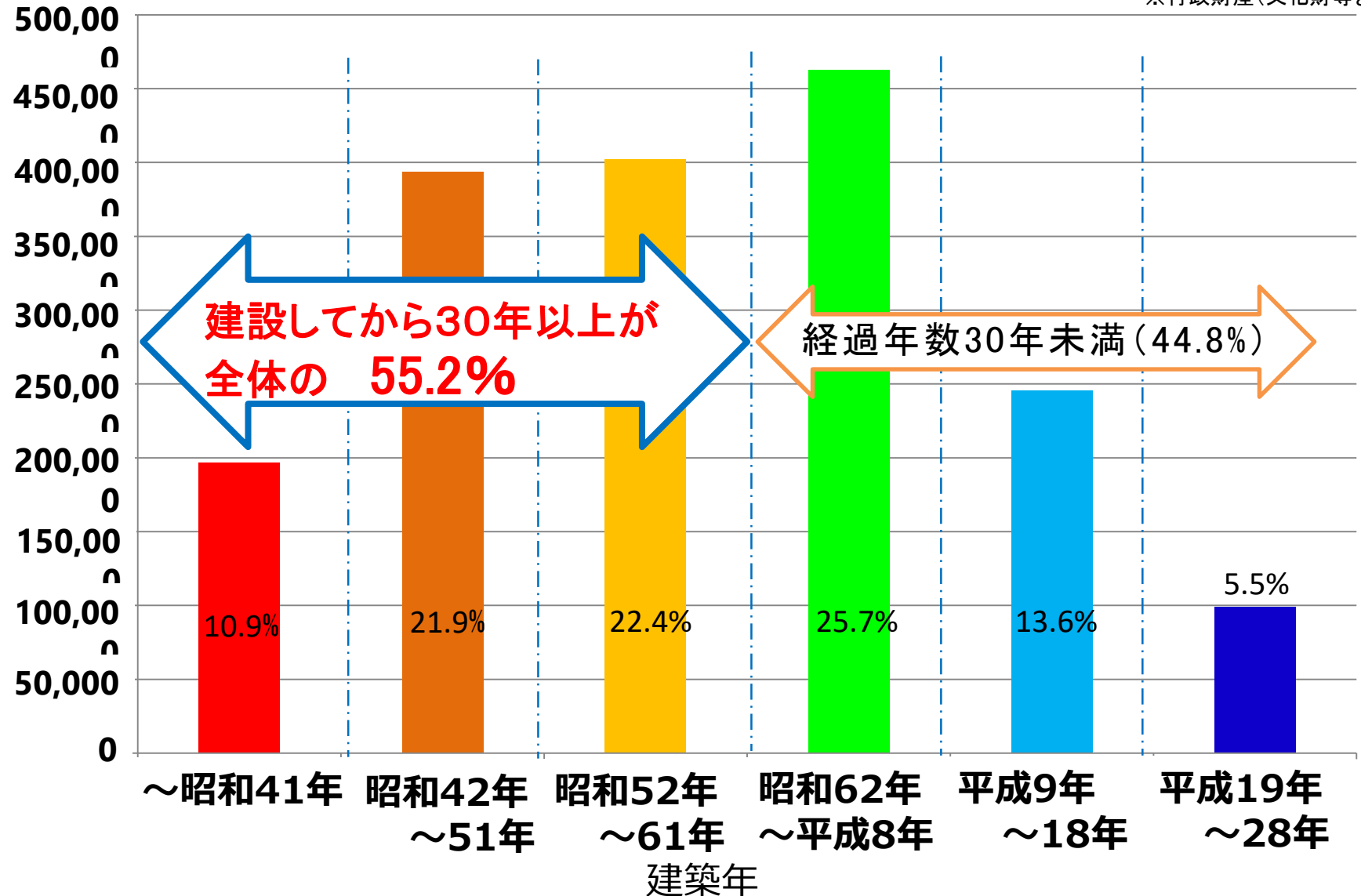
- ☑ 施設が古くなってきている
- ☑ 人口減少・少子高齢化が進んでいる
- ☑ 人口減少なのに、施設が多いまま



☑施設が古くなっている <年度ごとの公共施設の建設量>

床面積 m^2

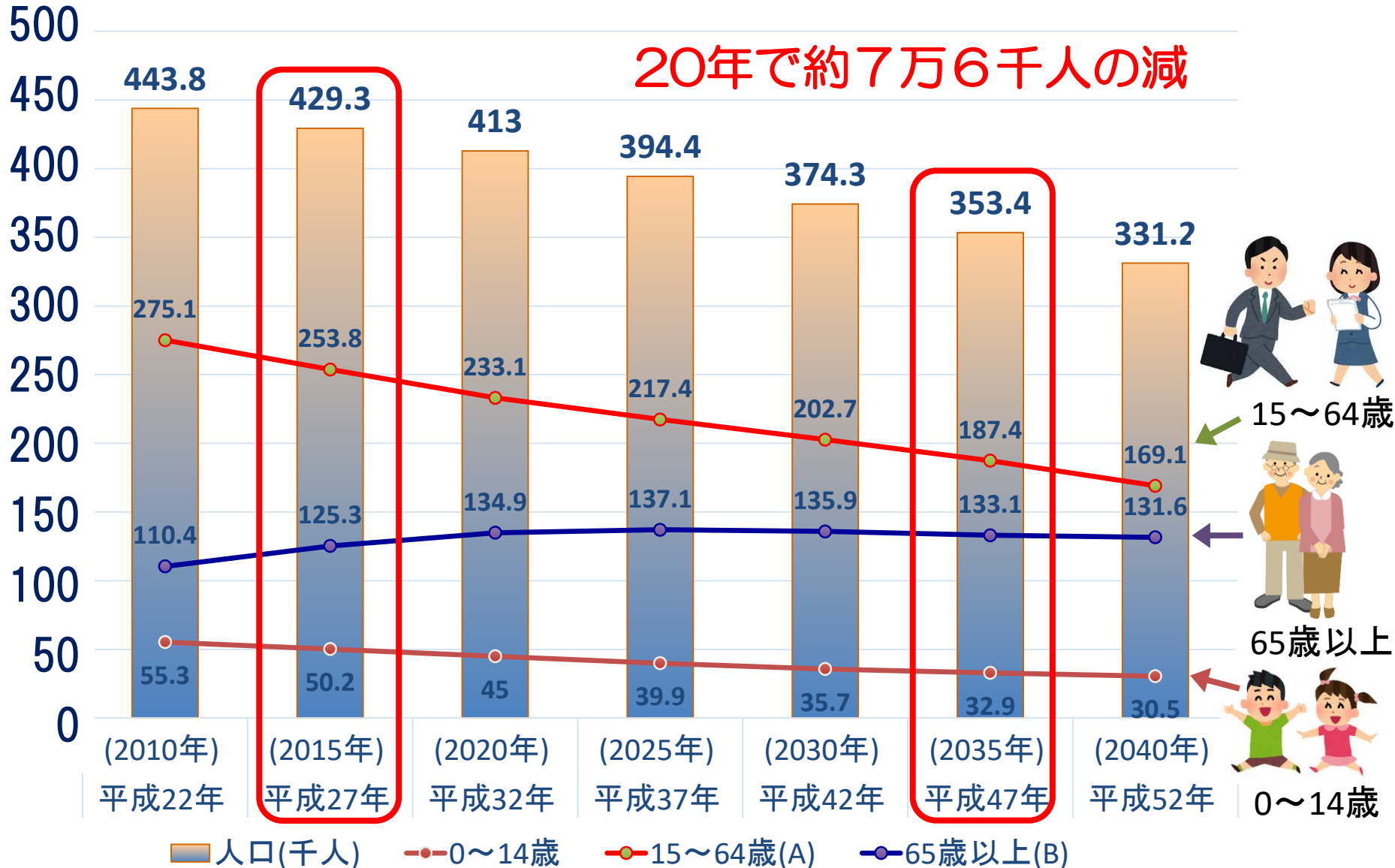
平成29.3月末現在
※行政財産(文化財等を除く)



☑ 人口減少・少子高齢化が進んでいる

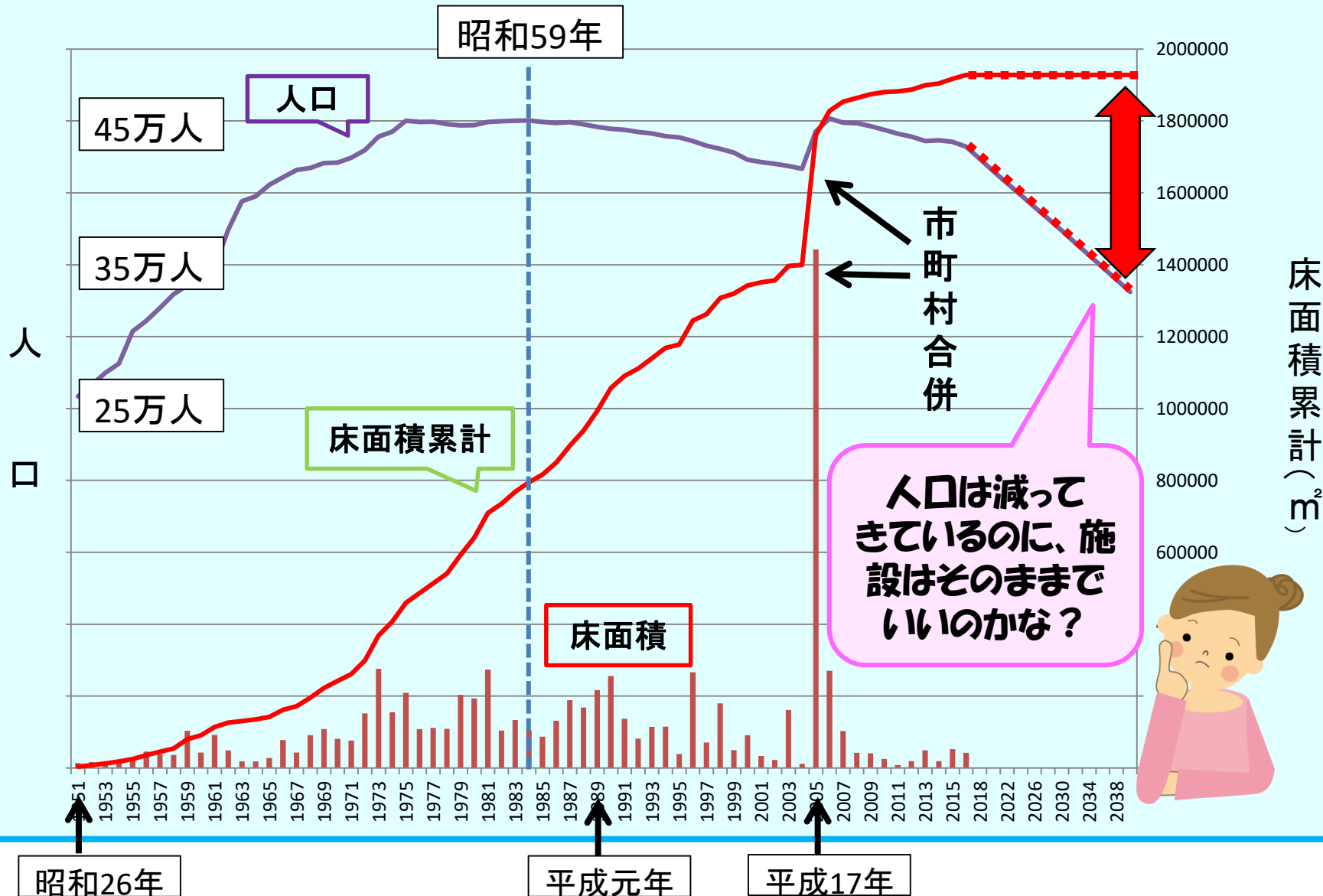
(千人)

資料：国立社会保障・人口問題研究所（H25. 3月推計）



☑ 人口減少なのに、施設が多いまま

施設の面積と人口の移り変わり



人口減少

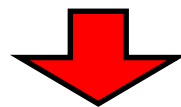


公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の
量の増大

少子高齢化

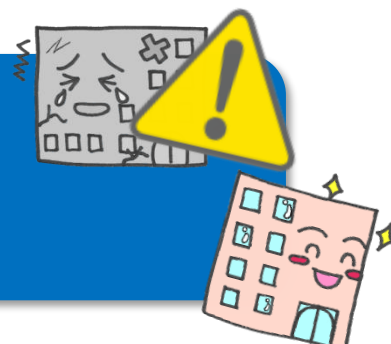
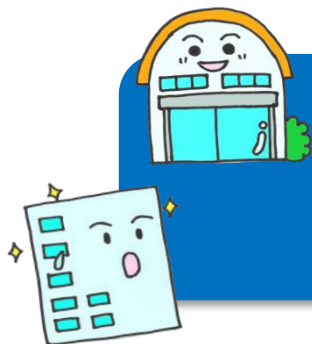


医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？



シナリオ…①

建物は簡単に壊れないから…と、そのままにしておく



知らない間に建物が古くなり、危険なまちに☠️



シナリオ…②

いままでどおり、全部の建物を建替える！



他のサービスが低下します。
また、整備のために無理な借金をして
長崎市の財政がさらに厳しくなっていきます。

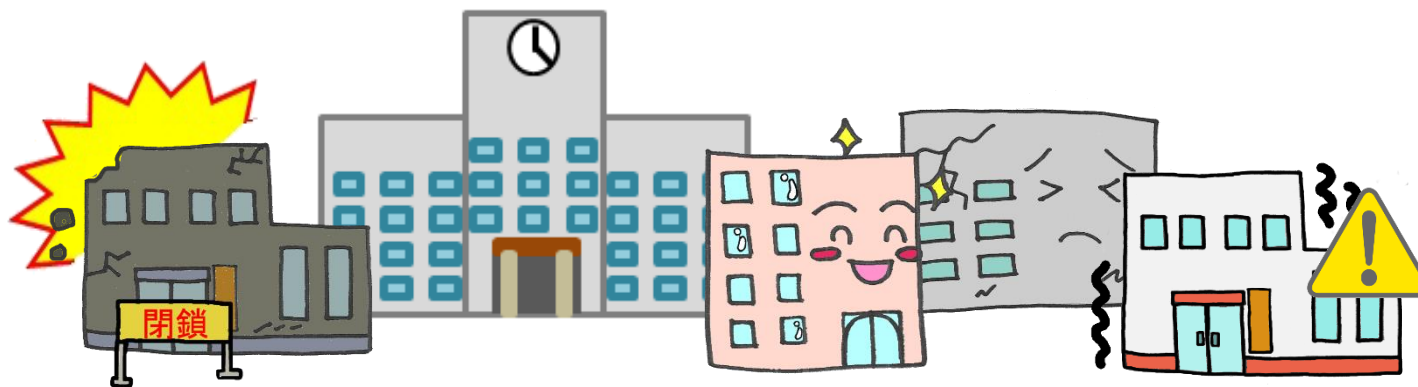


シナリオ…③

どうしようか…と迷い、その場しのぎの対応をしてしまう



新しい建物と、古い建物が一緒に立ち並ぶことに



長崎市は

『人口が減っても、
暮らしやすいまち』
であり続ける



将来に備えるために、

公共施設の使い方を

見直しましょう！



例えば、こんな見直しがあります



● いっしょに使う ●



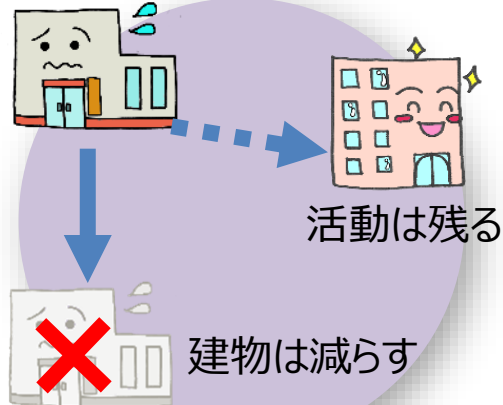
午前

午後

● 時間をやりくり ●



● 片づける ●



活動は残る

建物は減らす

● 建物が少なくなる ●



● 活動は減らない ●



● 交流が活発に ●

取組事例

～野母崎樺島地区公民館～



旧公民館



新公民館(旧樺島保育所)



**旧お遊戯室が
講堂に！**

- **耐震性なし**
(築42年)
- **バリアフリーでない**
(3階建て)
(エレベーターなし)
- **駐車場4台分**



- **耐震性あり** ✨
(築22年)
- **バリアフリー対応** ✨
(平屋建て)
(スロープ設置) ✨
- **駐車場14台分**

作業 I / 20分

①自己紹介

- ・なぜ「対話」に参加しましたか？

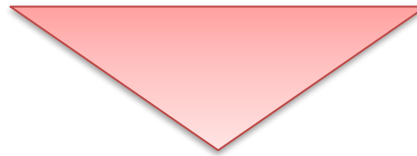
②施設の「見直し」を考えます

- ・どんな施設を見直すべきですか？
- ・どんな取り組みができるでしょう？
- …それぞれ、付せん紙に書いてみてください

ポイント!

②公共施設のかしこい見直し方

施設を見直すこと



行政サービスを
なくすこと



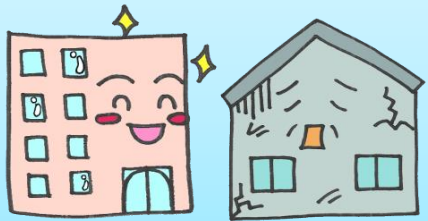
見直す時に大切に
していることは…



見直す時に大切にしていること

次のような視点で見直しを考えます

建てられた年数
や修理状況



地震に
強い建物か



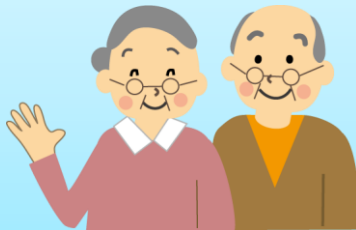
よく利用されて
いるか



使っていない
部屋はないか



バリアフリーに
対応しているか



同じような
使われかたを
している建物が
ないか



修理などに
費用が掛かりす
ぎていないか



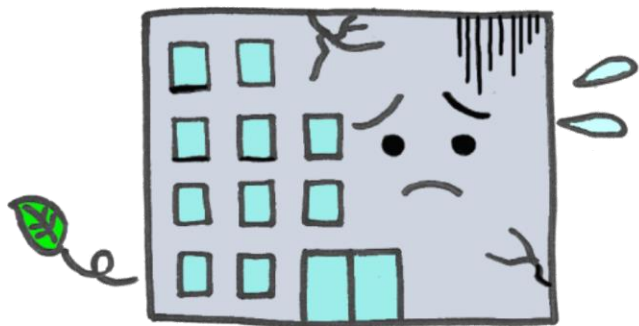
大きく

3つの手法があります



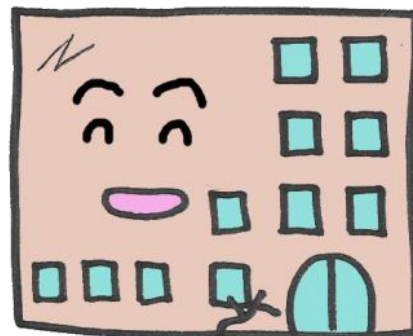
手法 1

施設を選んで、使い続ける施設はしっかり管理！



廃止予定の施設

選択



使い続ける施設

廃止予定なのに
修理をするのは、
もったいないものね！

安全で安心して
利用できる施設管理
に努めます

手法2

ゆずりあいと工夫



●いっしょに使う●



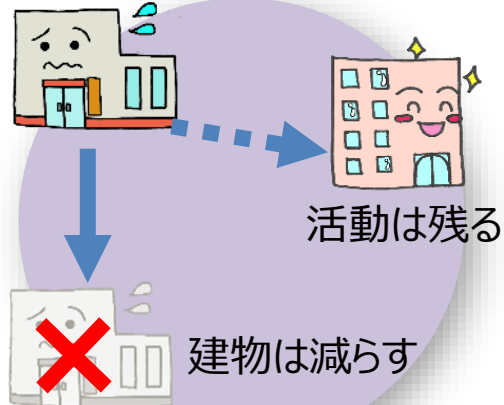
午前

午後

●時間をやりくり●



●片づける●



活動は残る

建物は減らす

●建物が少なくなる●



●活動は減らない●



●交流が活発に●

手法3

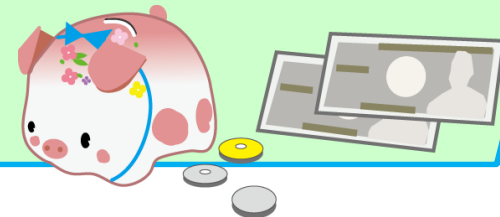
新たな財源を確保する

◇使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする。

使っていない土地や建物の売却・貸付



使っていない土地や建物を有効活用
します！




◇民間企業との連携・協力を積極的に行う。

民間



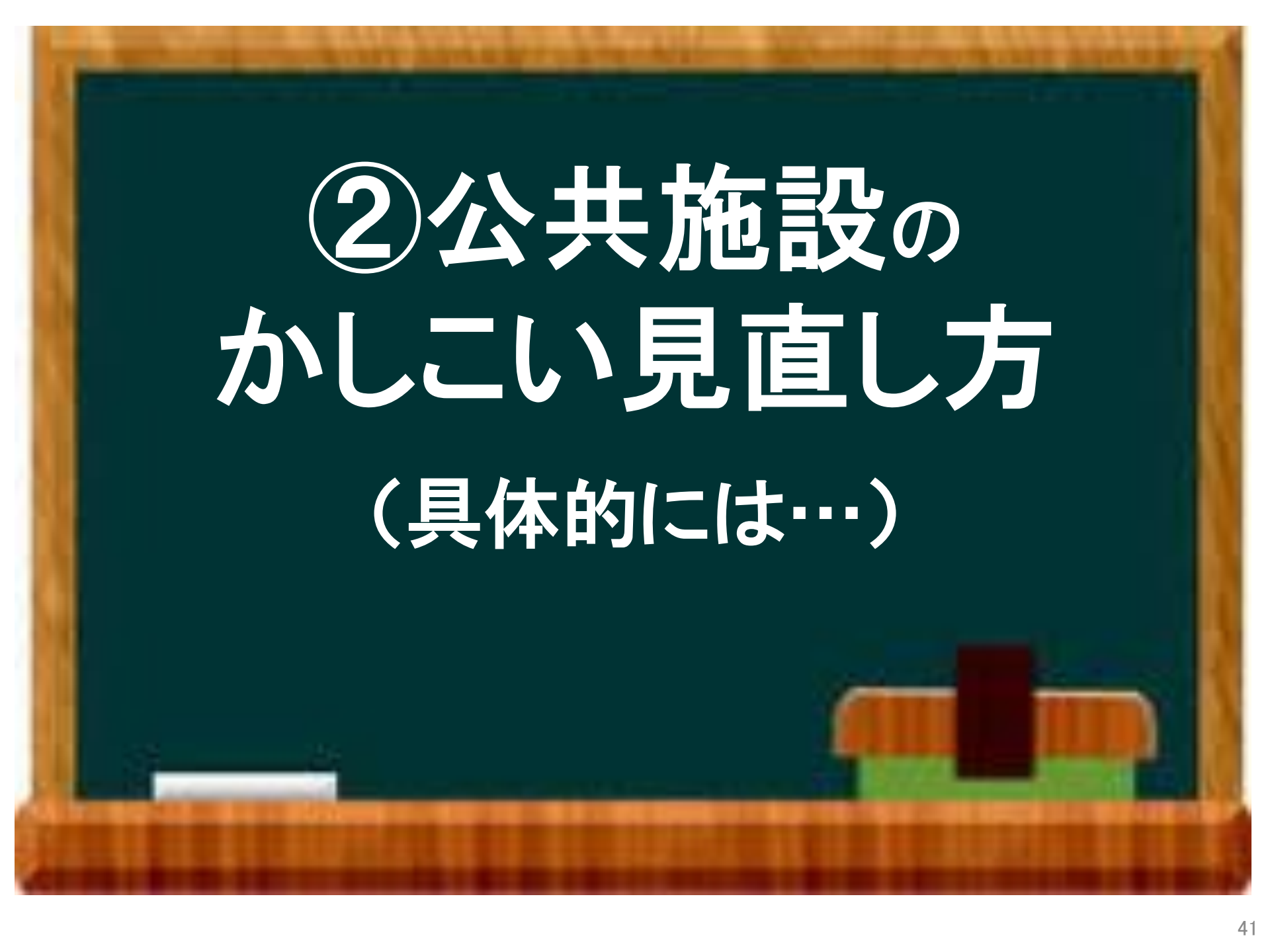
行政

 知恵や工夫を出し合って、行政サービスの充実につなげます！

限られた財源を

上手につかいます





②公共施設の
かしこい見直し方
(具体的には…)

①施設を**利用する対象者**

を考えて見直します

②**地区ごと**に見直します



①施設を利用する対象者を考えて配置します

全市施設

- ・市役所本庁
- ・図書館
- ・ブリックホールなど

広域施設

- ・スポーツ施設
など

地区施設

- ・地域センター
- ・小中学校
- ・ふれあいセンター、公民館など

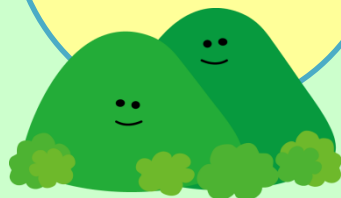


②地区ごとに見直します

まちの
成り立ち



地形



交通網



今後の
人口動態

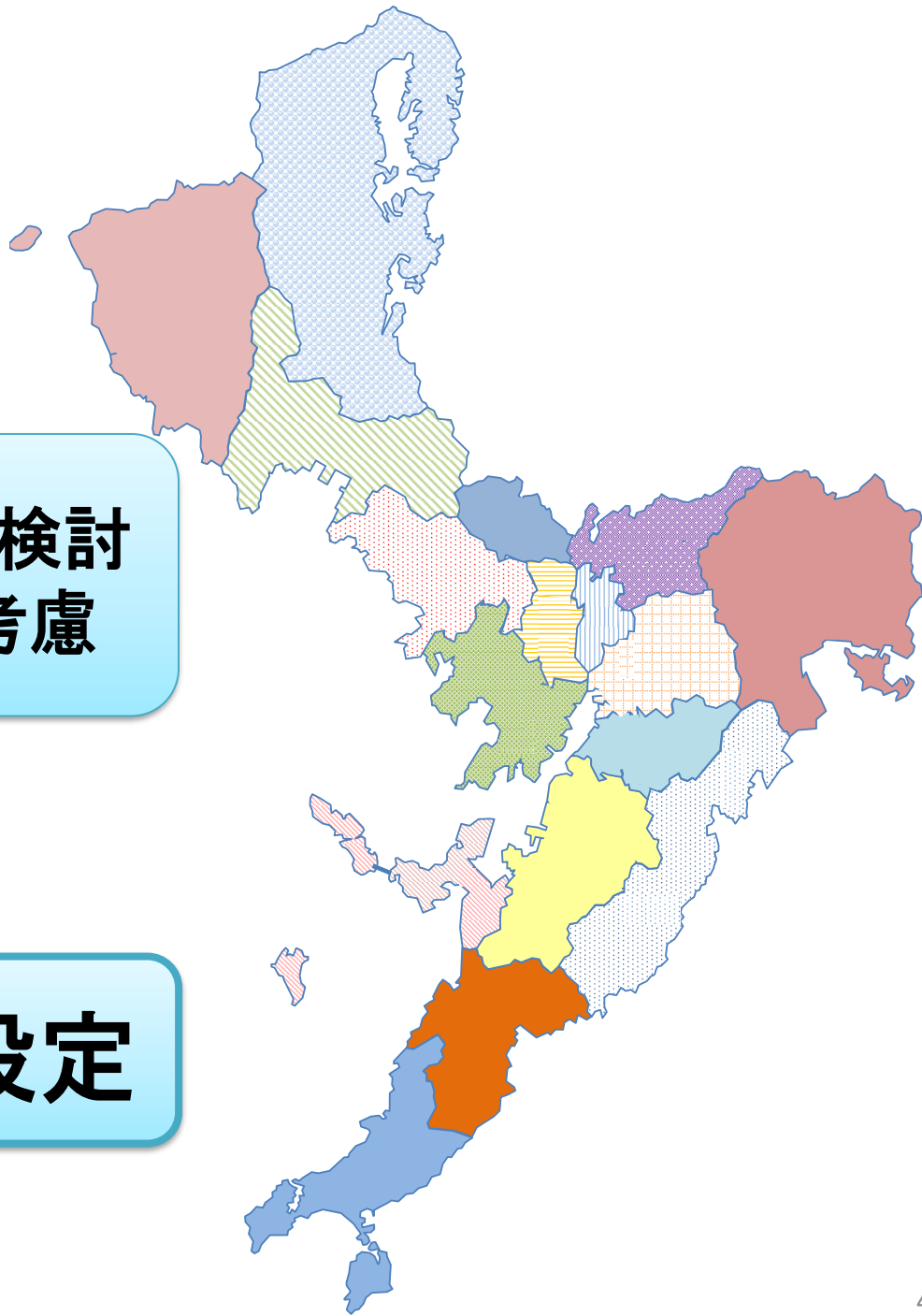


地域にはそれぞれ特徴があるため、
地域の実情、くらしの視点で公共施設の
見直しを行います

◆地区の分け方

- ◇地形・交通網から範囲を検討
- ◇人口規模の状況などを考慮

市内を17地区に設定



地域の**住民のみなさん**と

一緒に考えることで、

より良い見直しにつながります。



地区に住んで
いるからこそ
知っている情報

暮らしが楽しく
なるような
アイデア

地区の
将来像



対話で出たご意見などを参考にさせていただき、
地区別計画を市が責任を持ってとりまとめていきます。

◆対話の進めかた

第1回
11月23日(祝)

施設見直しの
必要性

施設の現状を
知る

第2回
12月17日(日)

施設と提供され
ている市民サー
ビスを分けて考
える

第3回
来年1月予定

取り組む主体を
考える

第4回
来年2月予定

対話のまとめ

地区に住んでいるからこそ
知っている課題や実態
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

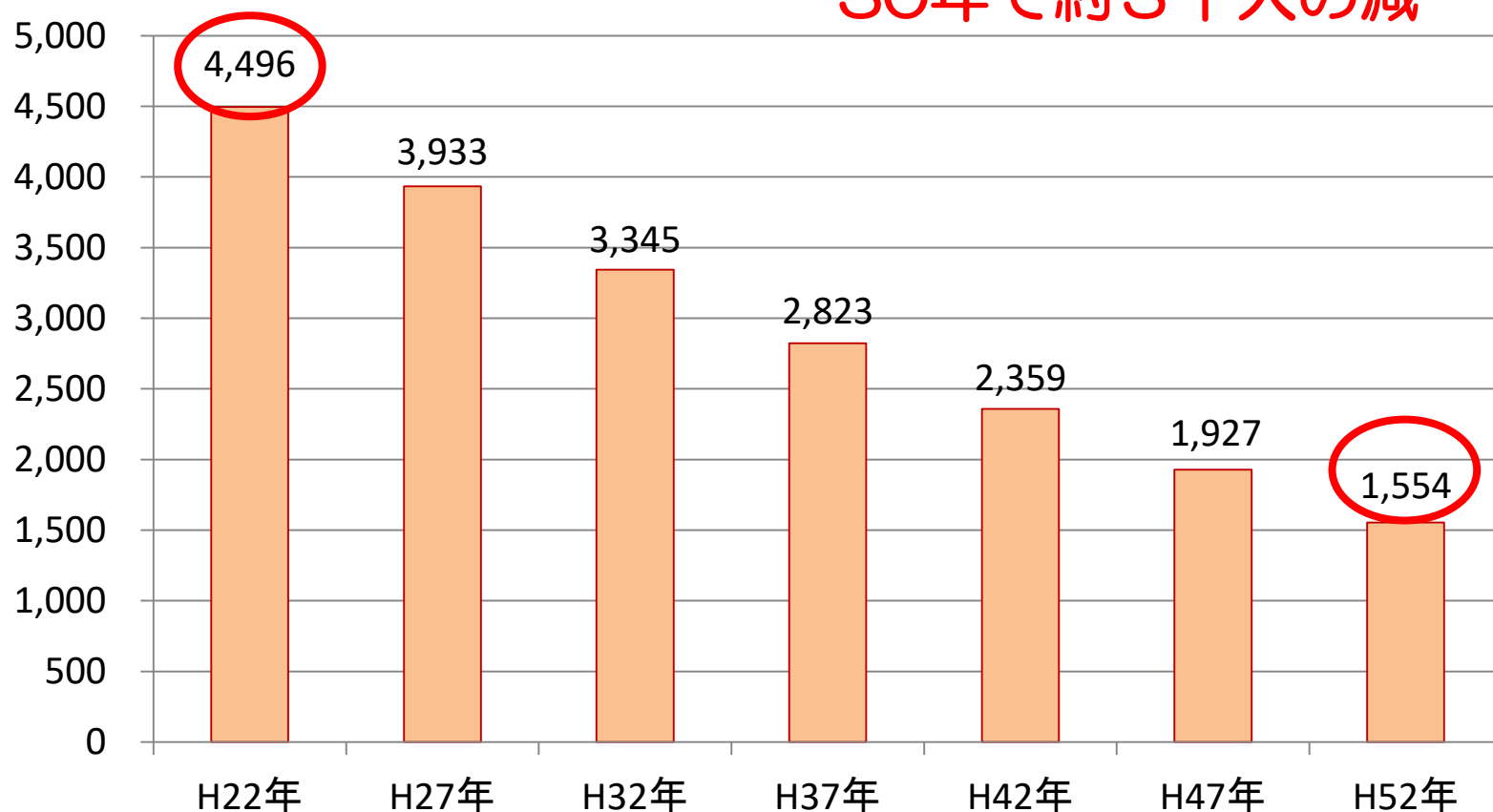
外海地区の昔と今

1 外海地区の将来推計人口

人口は30年で3分の1に

【 外海地区 】

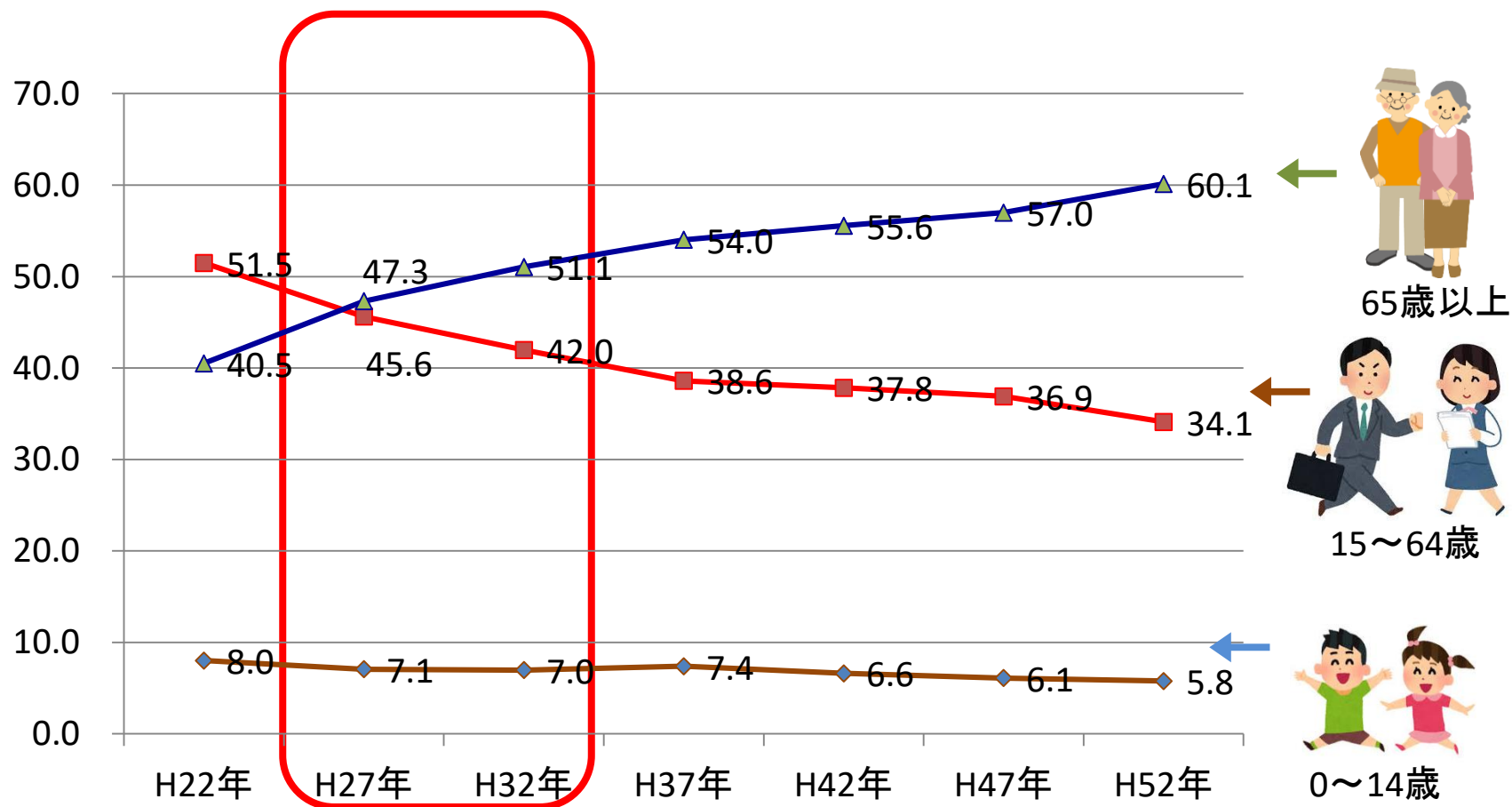
30年で約3千人の減



1 外海地区の将来推計人口

高齢者人口割合は約 6 割に

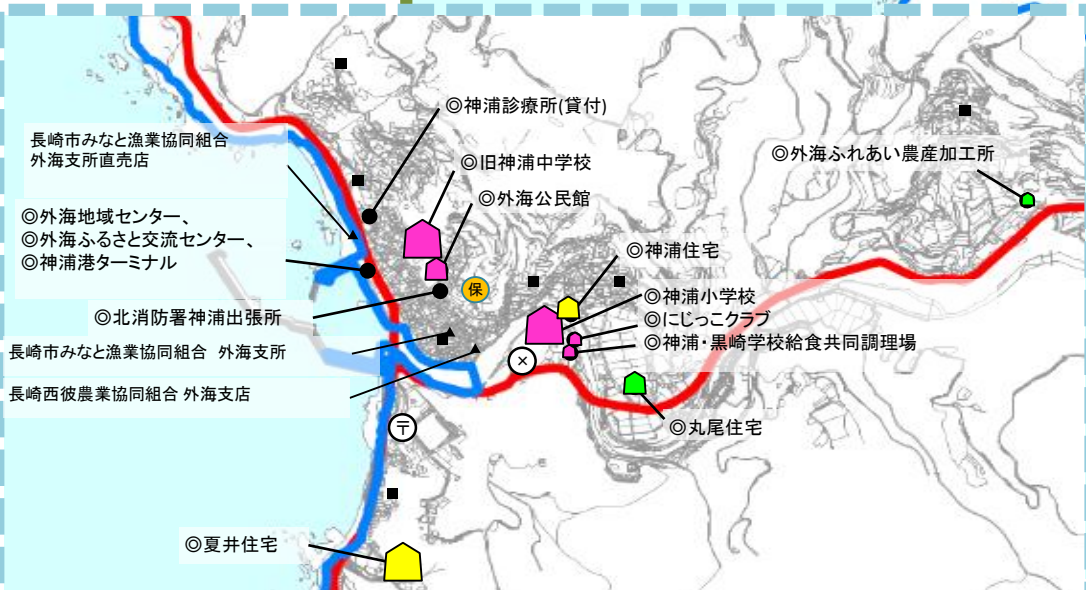
【 外海地区 】



2 外海地区の公共施設

	小	延床面積 (㎡)	大
	~500	501~2000	2001~
↑			
築年数	0~20年		
	21~40年		
↓	41年~		

【耐震構造】 耐震◎ 非耐震×
未診断△ 混在□



3 外海地区の公共施設

外海地区の公共施設の情報

このような記号は、その施設の機能を表しています。

1 全市施設

種類	施設のなまえ	近くのバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スローストair	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
								日数	稼働率	利用者数					
								H29.3.31現在							
レクリエーション	黒崎海岸有料シャワー施設	約3分	30㎡	2004.12	12	-	○	365	-	736	-	-	○	-	
	西出津ゲートボール場	約8分	988㎡	1998.3	19	-	○	-	-	-	-	×	×	-	
農林業振興	外海ふれあい農産加工所	約19分	219㎡	2003.3	14	-	○	-	-	-	-	×	×	○	
	外海子ども博物館	約5分	813㎡	1982.4	34	-	○	308	2.8%	912	-	○	○	×	
博物館等	外海歴史民俗資料館	約3分	1,097㎡	1979.4	37	-	×	344	-	11,376	○	○	○	○	
	遠藤周作文学館	約2分	1,074㎡	2000.3	17	-	○	358	-	20,422	-	○	×	×	
	まちづくり記念館	約1分	93㎡	1989.3	28	-	○	117	-	2,008	-	×	×	○	
文化財	ド・ロ神父記念館	約5分	179㎡	1885.1	132	-	-	358	-	14,322	-	×	×	○	
	物産道の駅太陽が丘とめ	約1分	496㎡	2005.3	12	-	○	364	-	198,877	-	○	○	×	
海港	神浦港ターミナル	約5分	53㎡	1993.3	24	-	○	-	-	12,381	-	○	○	-	

施設の使い方を見直すときに大切にしている7つの視点

1	2	3	4	5	6	7	合計
建物が古い30年以上	地震に弱い	あまり利用されていない	使っていない部屋がある	バリアフリーではない	地区内に同じような使い方をしている施設がある	費用がたかつかかっている	
		✓		✓			2
				✓			1
				✓			1
✓		✓		✓		✓	4
✓	✓	✓	✓	✓		✓	5
		✓		✓		✓	3
		✓		✓		✓	2
✓		✓		✓		✓	3
		✓		✓		✓	1
				✓		✓	0

2 地区施設

種類	施設のなまえ	近くのバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スローストair	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
								日数	稼働率	利用者数					
								H29.3.31現在							
コミュニティ	黒崎地区公民館	約1分	543㎡	2015.4	1	○	○	292	12.2%	6,007	-	○	○	×	
	出津地区公民館														
	外海公民館														
	外海ふるさと交流センター														
庁舎等	外海地域センター														
	外海地域センター黒崎事務所														
遊休資産	旧出津小学校														
	旧神浦中学校														
市営住宅	永田第1住宅														
	永田第2住宅														
	永田第3住宅														
	高尾住宅														
	松本住宅														
	松山迫住宅	約1分	1,120㎡	1980.4	36	-	○	16	100%	16	-	×	×	×	
	出津住宅	約1分	2,044㎡	1989.4	27	-	○	28	85.7%	24	-	×	×	×	
	西出津住宅	約1分	1,208㎡	2002.4	14	-	○	14	100%	14	-	○	○	○	
	丸尾住宅	約3分	1,261㎡	1970.4	14	-	○	14	100%	14	-	×	×	○	
	神浦住宅	約1分	1,092㎡	1977.4	39	-	○	16	81.3%	13	-	×	×	×	
夏井住宅	約2分	2,210㎡	1993.4	23	-	○	26	88.5%	23	-	×	×	○		

1	2	3	4	5	6	7	合計
建物が古い30年以上	地震に弱い	あまり利用されていない	使っていない部屋がある	バリアフリーではない	地区内に同じような使い方をしている施設がある	費用がたかつかかっている	
		✓		✓		✓	3
				✓		✓	6
				✓		✓	4
				✓		✓	1
				✓		✓	6
				✓		✓	1
				✓		✓	4
				✓		✓	0
				✓		✓	3
				✓		✓	2
				✓		✓	2
				✓		✓	2
				✓		✓	2
				✓		✓	5
				✓		✓	2

お手元の資料をご覧ください。

3 その他の施設

種類	施設のなまえ	近くのバス停からの徒歩時間	建物全体の床面積	建築年月	経過年数	避難所	耐震性	H28年度利用状況			使っていない部屋	スローストair	多目的トイレ	エレベーター	H28年度の費用(※1)
								日数	稼働率	利用者数					
								H29.3.31現在							
学校等	外海黒崎小学校	約1分	2,739㎡	1973.3	44	-	○	-	-	47※H29.5	-	×	×	×	
	神浦小学校	約1分	2,776㎡	1973.3	44	-	○	-	-	33※H29.5	-	×	×	○	
	黒崎中学校	約4分	3,607㎡	1970.3	47	-	×	-	-	63※H29.5	-	×	×	×	
	にじっこクラブ(放課後児童クラブ)	約5分	79㎡	1970.4	46	-	○	294	-	216	-	×	×	×	
学校給食	神浦・黒崎学校給食共同調理場	約2分	222㎡	1988.1	28	-	○	-	-	-	-	×	×	○	
消防	北消防署神浦出張所	約1分	408㎡	2014.2	3	-	○	-	-	-	-	×	×	○	

【7つの視点の説明】

- 1...建てられてからの年数が30年以上のものに✓
- 2...耐震性がない建物には✓
- 3...市全体で同じ種類の建物と比較したときに平均より稼働率または入居率が低い場合には✓稼働率または入居率が低い施設は、1日あたりの利用者数が平均より低い場合には✓
- 4...使われていない部屋などがある場合は✓
- 5...入口にスロープ、2階以上の建物にエレベーター、多目的トイレのいずれか1つでもなければ✓
- 6...地区内に同じような使い方をしている施設がある場合は✓
- 7...市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均よりかかっている場合は✓利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡あたりの費用が平均よりかかっている場合は✓

※1...市全体で同じ種類の建物と比較したときに利用者1人当たりの費用が平均より低い場合は○、高い場合は×(利用者数を把握していない施設については、床面積1㎡あたりの費用で比較)

外海地区の公共施設

黒崎海岸有料シャワー施設



築年数

築12年

利用者数

736人／年間

外海子ども博物館



築年数

築34年

利用者数

912人／年間

外海歴史民俗資料館



築年数

築37年

利用者数

11,376人／年間

遠藤周作文学館



築年数

築17年

利用者数

20,442人／年間

まちづくり記念館



築年数

築28年

利用者数

2,008人／年間

ド・ロ神父記念館



築年数

築132年

利用者数

14,322人／年間

外海ふるさと交流センター



築年数

築24年

利用者数

15,262人／年間

神浦港ターミナル



築年数

築24年

利用者数

12,380人／年間

コミュニティ施設



黒崎地区公民館



出津地区公民館



外海公民館



老人福祉センター開陽山荘

黒崎地区公民館



築年数

築1年

利用者数

6,007人／年間

出津地区公民館



築年数

築43年

利用者数

3,097人／年間

外海公民館



築年数

築46年

利用者数

7,068人／年間

老人福祉センター開陽山荘



築年数

築37年

利用者数

1,620人／年間

西出津ゲートボール場



築年数

築19年

道の駅夕陽が丘そとめ



築年数

築12年

利用者数

198,877人／年間

外海ふれあい農産加工所



築年数

築14年

利用者数

52人／年間

外海地域センター



築年数

築24年

外海地域センター黒崎事務所



築年数

築48年

遊休資産



旧神浦中学校

築年数

築50年



旧外海行政センター

築年数

築35年

市営住宅

築年数／入居戸数



永田第1住宅
23年／15戸



永田第2住宅
14年／8戸



永田第3住宅
12年／8戸



高尾住宅
40年／4戸



松本住宅
39年／16戸



松山迫住宅
36年／16戸



出津住宅
27年／24戸



西出津住宅
14年／14戸



丸尾住宅
14年／14戸



神浦住宅
39年／13戸



夏井住宅
23年／23戸

学校



外海黒崎小学校

築年数 築44年 児童数 47人



神浦小学校

築年数 築44年 児童数 33人



黒崎中学校

築年数 築47年

児童数 63人

神浦・黒崎学校給食共同調理場



築年数

築47年

北消防署神浦出張所



築年数

築3年

最後に
お伝えしたいこと

施設を造ってきた、
施設を使ってきた、
わたしたちが“今”
見直すことが大切



みなさん一緒に
暮らしやすい
まちづくりを進めて
いきましょう

